



インフルエンザワクチンの接種時期

● : インフルエンザウイルスを薬剤等で処理して感染力を失わせたもの (抗原といいます)

Y : インフルエンザウイルスに感染するのを予防するための免疫 (抗体といいます)

抗体が存在しない状態
(~11月初め)

インフルエンザワクチン
(抗原) を接種する
(11月初め~中頃がおすすめ)

抗体が十分に存在しない状態
(5月初め~)

抗原に対する抗体が
作られている状態
(11月中頃~終わり)

予防が期待できる

抗体が十分に存在する状態
(11月終わり~4月終わり)

予防(免疫)が期待できる
のは接種後約 **5カ月** まで

抗体が十分に作られるまで
2~3週間 かかります

インフルエンザワクチンを毎年接種するのには、2つの理由があります。

- ワクチンの効果が長く続かないから
- ウイルスが毎年変化するから

新型コロナウイルスの感染予防対策を行うことで、インフルエンザにかかる確率は下げられますが、インフルエンザウイルスは新型コロナウイルスより感染力が強く、完全には防げません。近年のインフルエンザの流行時期を考え、**インフルエンザワクチンの接種は11月初め~中頃がおすすめ!**

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《 一出張相談会 — 保健室に薬剤師が来ます 》
おくすりナビの内容、医薬品や健康、薬物乱用などについて、相談・聞きたいことがある人は保健室まで！
10月は中止します。

作成・発行元 北陸大学薬学部
准教授 大柳賀津夫(薬剤師)
准教授 岡本晃典(薬剤師)

